

FPまつもと通信

ちょっと得する「資産形成」や「お金」の話題をお届けします。

ご挨拶

5月の第2日曜日は「母の日」です。

1908年にアメリカの女性が、亡くなった母を偲んで追悼会を催したことが起源とされています。その追悼会で白いカーネーションを配ったことから、母の日にカーネーションを贈る習慣が広まったそうです。

日本には明治から大正にかけて、キリスト教団体によって伝えられ、戦後には百貨店などがキャンペーンを行ったことで定着したとされています。

日頃なかなか伝えられない感謝の気持ちを言葉にし、家族のつながりを見つめ直す機会にしてみてもいかがでしょうか。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

世界長者番付が発表されました。世界1の資産家の保有資産は何と約49兆円と気の遠くなるような金額でした。

オンラインカジノ利用経験者、336万人、掛金合計1.2兆円

オンラインカジノについては、最近では芸人やプロ野球選手、1年前には米国メジャーリーグの大谷選手の元通訳による依存症が話題になりました。そんな中、警察庁は3月にオンラインカジノの実態把握のための調査報告を公表しました。

それによると過去にオンラインカジノを経験したことが有る人は336万人、現在プレイをしている利用者は196万人と推計されるようです。下表は年代別の利用者数と掛金です。

年代	利用者人口	賭額／年（円）	賭額総額／年（円）
10代	89,501	303,833	27,193,464,077
20代	738,024	620,120	457,663,724,985
30代	575,641	800,229	460,644,727,649
40代	353,984	576,563	204,094,143,200
50代	118,032	580,692	68,540,042,032
60代	58,899	229,950	13,543,748,973
70代	33,052	321,000	10,609,715,735
合計	1,967,133	631,523	1,242,289,566,650

手軽にスマートフォンから時間の制約なくプレイできることから依存症になりやすく、短時間で借金を膨らませる危険があります。借金返済のために闇バイトにかかわるケースも多いようです。

日本ではオンラインカジノは違法です。SNS等で目にする広告には十分に注意しましょう。



F P 松本相談センター
ファイナンシャルアドバイザー
媚山裕之

〒390-1702
長野県松本市梓川梓856-26
0263-76-1250
090-8741-7358
<https://fp-matsumoto.com>



2012年から2015年までの3年間、社会保険労務士として「年金事務所における年金相談業務」に従事。そこで、数多くの“悲惨な老後の実態”を目の当たりにし、老後に向けた資産形成の必要性を痛感。国も勧める、“確定拠出年金”や“つみたてNISA”を活用した「長期・分散・つみたて投資」を真面目に、地道に推進。クイズやゲームを活用した『つみたて投資セミナー』は「わかりやすく、ためになる！」と多くの受講者からご支持をいただいております。

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

下図表は2008年1月から積立投資をした場合のシミュレーションです（MS社インデックスファンド基準価額データを利用）。図①は国内外の株式・債券の種類ごとの積立投資の推移を、図②は外国株式ファンドと外国債券ファンドに積立投資をした場合の積立開始時期による成果の違いを表しています。この2つのグラフを見ると、長期の積立投資で成果を得るためには以下が大切であることがわかります。

投資期間に応じた資産配分：積立期間が長い場合には株式の割合を多く、まとまった資金の受取予定が近い場合には株式の割合を少なくする

大幅に値下がりした場合：積立期間が十分にある場合は、株式への資産配分の増額、掛金の増額を検討する

長期継続する：値動きや値動きを解説するニュースに惑わされず長期継続する

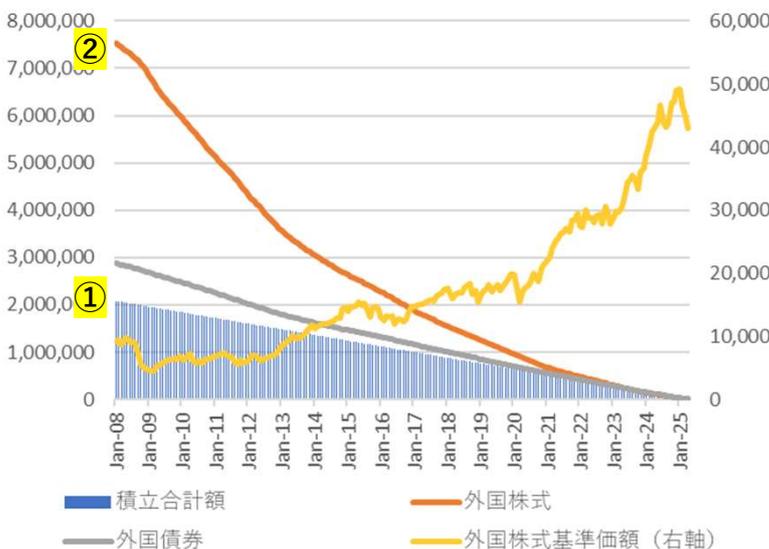
① アセットクラスごとの積立投資の推移



	Feb-25	Mar-25	Apr-25
積立累計額	2,060,000	2,070,000	2,080,000
日本株式	5,095,322	5,114,100	5,140,690
国内債券	1,958,916	1,948,888	1,969,600
外国株式	8,165,596	7,878,822	7,553,583
外国債券	2,840,655	2,879,877	2,838,281

2008年1月からの積立投資の推移です。株式は値動きは大きい一方値上がりも期待できません。債券は値動きは小さく値上がりも小さいことがわかります。従って長期の積立では株式をメインに、まとめて取崩す予定がある場合は株式の割合を少なくします。

② 積立開始時期ごとの積立合計と評価額



2008年1月に始めた外国株式への積立投資の合計額①208万円（青棒）は2025年4月に②755万円（オレンジ線）、約3.6倍になりました。グラフの左の方は積立合計（青棒）に対して現在の評価額（オレンジ線）が大きく上の方に離れているのに対しグラフの右の方はその差が小さくなっています。つまり投資の成果は概ね積立期間に連動していると考えられます。

外国株式に10年（120万円）積立をした場合の最大値、最小値、平均値は以下になります。

最大	2,977,271	2014年7月	～	2024年6月
最小	1,903,824	2010年5月	～	2020年4月
平均	2,448,157	データ数：89		

確定拠出年金加入者のための資産運用ガイド

トランプ関税で大幅下落

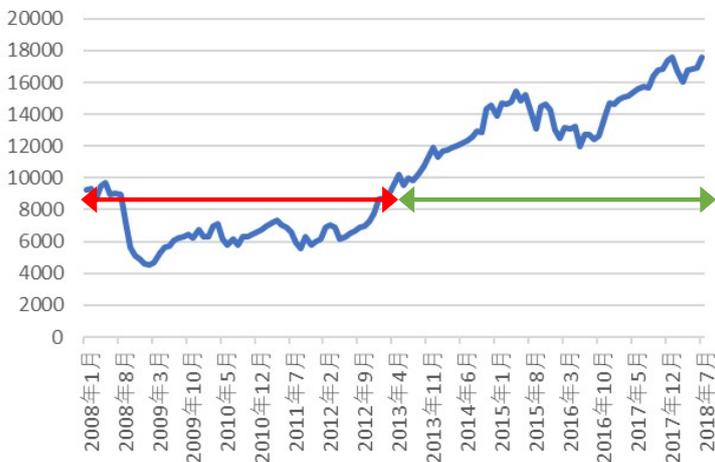
	日経平均		NYダウ		ドル円
Feb-25	37,155.50	-6.11%	43,840.91	-1.58%	150.62
Mar-25	35,617.56	-4.14%	42,001.76	-4.20%	149.96
Apr-25	36,045.38	1.20%	40,669.36	-3.17%	143.01

2025年4月の株式市場は、月初はトランプ大統領の大規模な関税導入の発表を受けて急落、ダウ平均株価は4月8日には37,645ドルと昨年12月の高値45,014ドルから約20%の下落となり弱気相場入りと報道されました。その後、90日の一部相互関税停止が発表され4万ドルを回復して終わりましたが、関税の影響からIMFは2025年の経済成長見通しを2.8%に下方修正しました。

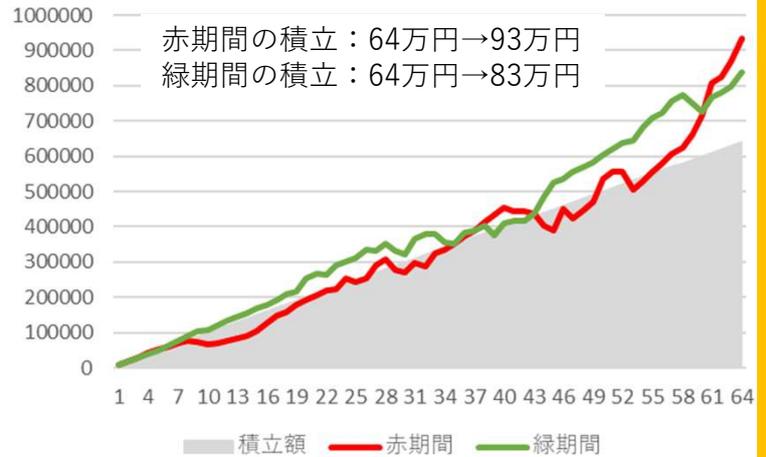
相互関税が世界景気に及ぼす影響によりしばらくは株価は神経質な値動きになることも予想されます。

トランプ関税ショックで長期の積立投資家がとるべき対応は？

下図は外国株式ファンドの2008年1月から2018年7月までの推移グラフです。赤の期間はリーマンショックで半値以下に下落したのち、元値に回復した2013年4月までの64か月、緑の期間は回復後から64か月の推移を表しています。



赤・緑の各64か月間、積立をした場合の推移を表したのが右上のグラフになります。



赤期間の積立では積立期間のほとんどが元本割れ、一方緑期間の積立では積立期間のほとんどの期間で元本を上回っていましたが、各64か月の積立では大きく値下がりし元の値に戻っただけの赤期間の積立の方が順調に値上がりした緑期間の積立より良い結果だったことがわかります。

下図は赤期間以降現在まで（2008年1月～2025年4月）と緑期間以降現在まで（2013年7月～2025年4月）まで積立をした場合の推移を表しています。



このような結果になるのは下落時にも投資を継続することで保有口数が増え、増えた口数がのちの値上がりの恩恵を受けるからです。

短期に値動きで利益を得る目的の投資ではなく、長期の積立投資ではこのような下落時に投資を継続することが大切と考えてよいと思います。

ちょっと気になるお金のコラム

今年の世界長者番付 イーロン・マスク氏が1位

先月米国経済誌Forbes誌は世界長者番付を発表しました。1位になったのはテスラ、スペースXを運営するイーロン・マスク氏で資産額3420億ドル（約49.59兆円）、2位はフェイスブックを運営するマーク・ザッカーバーグ氏の2160億ドル（約31.32兆円）でした。

世界長者番付トップ10 (10億ドル) (兆円)

順位	名前	10億ドル	兆円
1	イーロン・マスク テスラ/アメリカ	342	49.59
2	マーク・ザッカーバーグ フェイスブック/アメリカ	216	31.32
3	ジェフ・ベゾス アマゾン/アメリカ	215	31.18
4	ラリー・エリソン オラクル/アメリカ	192	27.84
5	ベルナール・アルノー LVMH/フランス	178	25.81
6	ウォーレン・バフェット バークシャー・ハサウェイ/アメリカ	154	22.33
7	ラリー・ページ グーグル/アメリカ	144	20.88
8	セルゲイ・ブリン グーグル/アメリカ	138	20.01
9	アマンシオ・オルテガ ZARA/スペイン	124	17.98
10	スティーブ・バルマー マイクロソフト/アメリカ	118	17.11

<https://www.forbes.com/billionaires/> 1ドル=145円で換算

1位のイーロン・マスク氏には11人の子どもがおり日本の少子化についてもたびたび警鐘をならす発言をしています。また今年にはトランプ政権の米政府効率化省でも注目の的となっていました。

トップ3の創業年をみると、テスラ2003年、フェイスブック2004年、アマゾン1994年、とわずか2、30年の間にゼロから何十兆まで資産を増やしているのは驚きであると同時に、日本では失われた30年などと言われている時期であることを考えると少し残念に感じますね。

10人の資産の合計は昨年の15,520億ドルから1.17倍増の18,210億ドルになりました。1ドル=145円で計算すると約264兆円で日本の国家予算の2年分以上です。ちなみにトランプ前米大統領の資産は51億ドル（約7,400億円）で世界700位だそうです。

ビリオネアの特徴は？

金額だけをみるとあまりにもかけ離れていて自分たちとは無関係に見えますが彼らの特徴をみると私たちの資産形成にも参考になる点があることに気づきます。

「お金持ち」というと親から莫大な資産を承継したのではと考えがちですが最近のビリオネアは少し違うようです。ランキングを見れば明らかなように、彼らは親から資産を承継したのではなく、創業した会社が大きく成長し、その会社の株式を大きな比率で持ち続けた人、つまり「成功したオーナー経営者」であることがわかります。

しかしながら起業をすれば誰でも簡単に成功できるわけでもありませんし、成功の陰には多くの失敗した人がいるのも明らかです。またそこまでのリスクをとってまで・・・と考えるのも自然なことだと思います。

そのような場合は、ビリオネア達をはじめとする世界の有能な経営者の事業の成果を享受することができる金融商品の利用を検討しても良いかもしれません。

自分の場合はどのような商品が向いているか、など気になる方はお気軽にお問い合わせください。